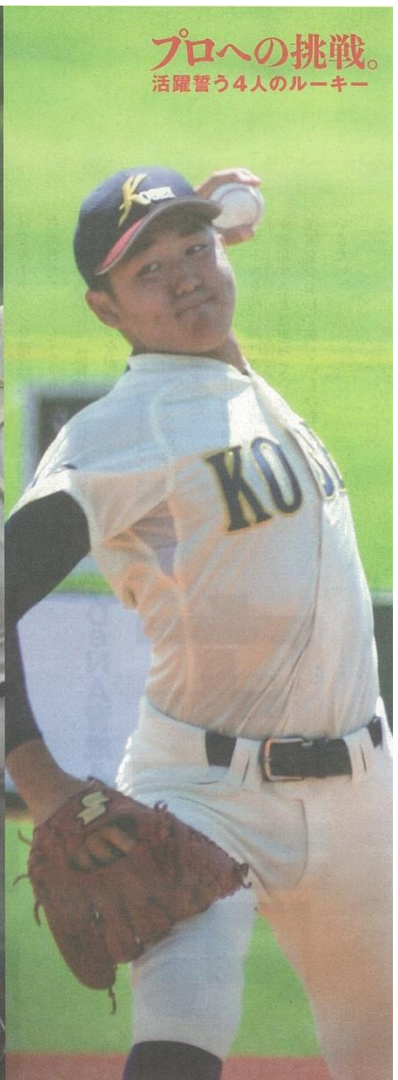
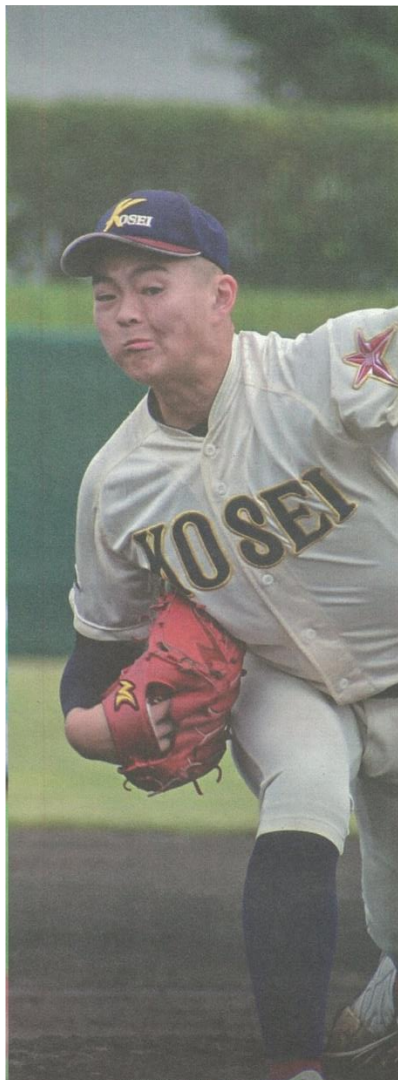


プロへの挑戦。
活躍誓う4人のルーキー



[2024ドラフト] 来季の注目選手は？

プロの世界を夢見る選手が、新シーズンの実戦でスカウト陣にアピールしようと、走り込みやトレーニングなどの地道な練習に励んでいる。2024年のドラフト会議で注目されそうな高校生や大学生は――

文・写真＝千葉 達也

八学光星高

岡本琉奨

八学光星高

洗平比呂

来季は、高校生投手に注目選手が多い。

八学光星の左腕・洗平比呂は、2年時に夏の甲子園を経験。背番号1を着けて臨んだ昨夏は、初戦のノーアジア大明桜（秋田）戦で完封勝利を挙げるなど強い存在感を放った。140キロ台の伸びのある直球にカーブやチェンジアップなどの変化球を効果的に織り交ぜる。仲井宗基監督は「このボールにも力がある」と評価する。

同校のダブルエースとして昨夏の甲子園で躍動した左腕・岡本琉奨も注目だ。最速148キロの直球が最大の魅力。スライダーやフォークを交え、打者をねじ伏せる投球が持ち味だ。

その八学光星に2年連続夏の県大会決勝で惜敗した工大一の大型左腕・金沢光希もドラフト候補に名前が挙がる。140キロ台の直球と切れのある変化球で打者と対峙する。高校生ではこのほか、青森山田の主戦右腕関浩一郎、昨秋の東北大会決勝でノーヒットノーランを達成した右腕櫻田朝に注目だ。

大学生では、八学大内野手の小林日出（秋田・能代高出）、同大投手の加藤響（秋田・金足農高出）が有望。走攻守三拍子そろった青森大外野手の玉置健士郎（北海道・白樺学園高出）も、新シーズンのアピール次第では指名が期待できそうだ。社会人ではJFE東日本の右腕・長谷川稜佑（青森大出）らが指名を待つ。